



縮退する日本と中国を続ける中国

不動産バブルと金融危機

創立150周年記念事業 一橋大学と社会をつなぐ講座シリーズ

令和5年度

一橋大学アカデミア



HITOTSUBASHI 150th

一橋大学は、シンポジウム「一橋大学アカデミア」を通じ、社会科学の総合大学ならではの諸問題への優れた分析と方策を提唱します。

中国経済は大手不動産会社の破綻や経済成長の鈍化など、不透明性が高くなりながらも、世界経済の成長をけん引し続けています。日本は、不動産バブルの崩壊後、長期的な経済停滞に見舞われました。その後の研究で、長期的な経済停滞の背後には、人口減少や高齢化の進展、生産性の低下など構造的な問題が存在していることも明らかになってきました。近年では、東京への一極集中の速度が高まり、地方都市は消滅していく可能性も、現実的なものとなりつつあります。日本経済、日本の都市の未来はどのようになっていくのでしょうか。このような大きな問いに答えるために、マクロ経済、ファイナンス、国土政策、そして今年度、新学部・研究科が新設されたソーシャル・データサイエンスに関する専門家が集い、未来を展望します。

2024(令和6)年

2/17

土

参加費 **無料**

申込方法

事前申込はQRコードから
申込者対象に見逃し配信有



<https://www.hit-u.ac.jp/extramural/academia/index.html>

13:30・16:40 開場13:00

開催形式

ハイブリッド [会場+オンライン]

定員

[会場]200名 + [オンライン]700名
(定員になり次第受付終了)

会場

梅田スカイビル
タワーイースト36階 スカイルーム1
TEL. 06-6440-3901

<https://www.skybldg.co.jp/access/>



JR大阪駅から徒歩7分、阪急大阪梅田駅から徒歩9分
Osaka Metro 梅田駅から徒歩9分

主催

国立大学法人一橋大学

後援

大阪商工会議所、公益社団法人関西経済連合会(順不同)

協賛

大阪ガス株式会社、小林製薬株式会社、塩野義製薬株式会社、
住友電気工業株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社村田製作所(順不同)

PROGRAM

開会挨拶 **大月 康弘**(一橋大学理事・副学長)

趣旨説明 **清水 千弘**(一橋大学ソーシャル・データサイエンス研究科教授)

【第1部】バブル崩壊後の日本経済を取り巻く課題：縮退する日本と新しいリスクと向き合う

祝迫 得夫(一橋大学経済研究所長・教授)

滝澤 美帆(学習院大学経済学部教授)

宇野 善昌(復興庁統括官・前国土交通省大臣官房長)

【第2部】パネル討論：中国不動産バブルは日本の二の舞となるか、そして日本の未来は？

宇野 善昌(復興庁統括官・前国土交通省大臣官房長)

内田 高弘(CEO, Kenedix Asia Pte. Ltd.)

祝迫 得夫(一橋大学経済研究所長・教授)

滝澤 美帆(学習院大学経済学部教授)

[モデレーター] **清水 千弘**(一橋大学ソーシャル・データサイエンス研究科教授)



国立大学法人

一橋大学

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学は2025年に創立150周年を迎えます。

お問合せ

国立大学法人一橋大学 広報・社会連携課

〒186-8601 東京都国立市中2-1

電話：042-580-8058(平日9:00~17:00) E-mail: res-ac.ml@ad.hit-u.ac.jp